

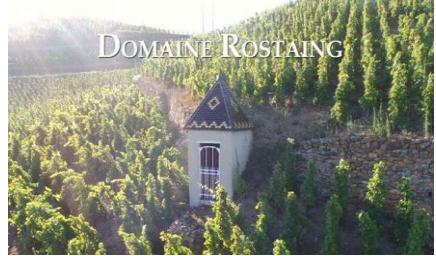
Domaine René Rostaing

ドメーヌ ルネ ロスタン

コート・ロティ最高峰のテロワールが生み出す優美で深みのあるシラー

ルネ・ロスタンは、コート・ロティ最高峰の上質なブドウ畠を有するドメーヌの1つとして知られています。ルネ・ロスタンが所有する畠の中で最も有名で重要な区画の殆どは、アルベール・デルヴューの娘との結婚によってもたらされたもので、婚姻から数年後には、ジャンタ・デルヴューが所有していた畠を全て手中に収めました。現在、自社畠の総面積は約8haで、コート・ロティ(コート・ブロンド、ラ・ラントンヌ、アンポディウム)や生産量の少ない稀少なコンドリュー等を含む秀逸なワインを手掛けています。ルネ・ロスタンでは、1971年の設立当初からテロワールを尊重したワイン作りを哲学としてきました。そのため、1980年代に樽香の効いたワインが台頭してきた時代においても、新樽の使用を控えめにし、抽出は優しく長めに行うことで、テロワールが持つピュアな個性を反映したエレガントなワインを生み出してきました。2015年からは息子のピエールがワイナリーを担い、父親の哲学を守りながら、さらなる高みを目指してワイン作りを行っています。

テロワールの魅力に溢れるルネ・ロスタンのワインは、ワイン・アドヴォケイトをはじめとしたワイン評価サイトで高得点を叩き出し、今やコート・ロティを代表するドメーヌとして確固たる地位を築いています。



◆ワイン・アドヴォケイト掲載記事《2019/12/20掲載》◆:若きピエール・ロスタンの仕事ぶりは極めて好調で、ラ・ラントンヌ、ラ・コート・ブロンド、コート・ブリュンヌに所有する最高の区画からコート・ロティ最高峰のワインを生み出している。殆ど非の打ちどころがないほど完成度の高い単一畠のワインには及ばないが、複数区画のシラーをブレンドして作るアンポディウムもまた新たな高みに達している。

2022 Côte-Rôtie Ampodium

コート・ロティ アンポディウム

品種:シラー100% 平均樹齢:40年 土壌:主に雲母片岩(所により石英、粘土、石灰岩、酸化鉄が混じる) アルコール度:13%前後 年間生産量:約20,000本

★ジェームス・サクリング 94点:フレッシュさと深みを備えた素晴らしいコート・ロティで、極めて緻密な味わいが口の中に勢よく広がる。フレッシュな森のベリー、仄かな黒コショウ、赤いバラを思わせるアロマが幾重にも重なり合う。美しいきめ細かなタンニンが生き生きとした長い余韻を生む。アペラシオン内にある20区画以上のシラーをブレンド。非常に高い熟成ボテンシャルを持つ。今でも美味しく味わえるが、2026年以降がベスト。《飲み頃:2026年以降 | 2025/4/14掲載》

★ワイン・スペクテーター93点:青みを帯びた果実や黒果実の魅力的なアロマを持つフレッシュな赤で、透明感のある澄み切った味わいを力強い緻密な骨格が支えている。飾り気のないピュアな佇まい。背景に広がる控えめなオーク香がきれいで溶け込み、クリーンな余韻にスミレのニュアンスや力強いミネラルを感じられる。現時点ではまだ硬く引き締まっていて、洗練されたタンニンに緊張感が広がる。飲み頃まで時間が必要だ。《飲み頃:2026-2040年 | 2025/8/31掲載》

2022 Côte-Rôtie La Landonne

コート・ロティ ラ・ラントンヌ

品種:シラー100% アルコール度:13%前後 年間生産量:約8,000~9,000本

★ワイン・スペクテーター95点:筋肉質で肉厚なテクスチャーが魅力的な赤。カシスやプラムの風味に深みのある smokey 香が重なる。チョーキーな味わいで、黒コショウやラベンダーの香りに加えて、終盤にはほろ苦いプラムの種のニュアンスが香る。熟した味わいながらも終始焦点が定まっている。タンニンは堅牢かつきめ細やかで、微かな黒鉛のニュアンスがアクセントを添える。力強さとエレガンスを備えた一本。《飲み頃:2027-2042年 | 2025/8/31掲載》

★ジェームス・サクリング 95点:緻密でチョーキーな肉付きの良いシラー。ダークチェリーやダークプラム、カシスのアロマにベーキングスパイスや仄かなサンダルウッドのニュアンスが香る。きめ細かなタンニンを備えたミディアムボディ。躍動感と凝縮感を備えた美しい構造を持つワインで、焦点が定まっている。瑞々しく生き生きとした後味にインキーなニュアンスが漂い、風味豊かな余韻がどこまでも続く。《飲み頃:2027年以降 | 2025/4/14掲載》

上代価格 ¥13,000(税別)

JAN:4543190184830



上代価格 ¥27,000(税別)

JAN:4543190184847

